

特定非営利活動法人
あおもり NPO サポートセンター

平成 22 年度総会

平成 22 年 6 月 26 日

於 やまげんビル 2 階
あおもり NPO サポートセンター
インキュベーションルーム

開始 15 時 00 分から

総会には、この資料を必ずお持ちください。

(総会当日、再配布はいたしません)

平成21年度 事業報告

2009年4月1日～2010年3月31日

特定非営利活動法人 あおもり NPO サポートセンター

1. あおもり NPO プラットフォーム構想の具体化

*「あおもり NPO プラットフォーム構想」は、東奥日報社・プランニングネットワーク東北・あおもり NPO サポートセンターが中心となり、県内外の市民活動団体と緩やかなネットワークを構築し、情報の共有を行うとともに、事業の協力を行ないながら、自立した市民社会を構築することを目指しています。

(1) 青森市新町奈良屋ビル2階及び旧王余魚沢小学校の「あおもり NPO プラットフォーム」の活動スペースを以下の NPO 法人及び団体の事務所に提供しました。

- ・ NPO 法人 生涯学習ネットあおもり
- ・ あおもり藍工房
- ・ (有) NPO
- ・ am COLLABORATION
- ・ 素雪書院
- ・ 青森県ふるさとづくりプラットホーム機構
- ・ ういむい未来の里協議会
- ・ 合同会社 teco LLC
- ・ 鈴木正治と「わ」の会

(2) 「あおもり NPO プラットフォーム」の活動に以下の NPO 法人及び団体が参加しました。

- ・ NPO 法人 IT 支援ネットあおもり
- ・ NPO 法人 青森県ふるさとづくりプラットフォーム機構
- ・ NPO 法人弘前こどもコミュニティ・ぴーぷる
- ・ NPO 法人 IT 事業センターはちのへ
- ・ NPO 法人 アート コア あおもり
- ・ NPO 法人 アート NPO リンク
- ・ NPO 法人 青森県環境パートナーシップセンター
- ・ NPO 法人 生き粋あさむし
- ・ NPO 法人 SanNet 青森
- ・ NPO 法人 おいでよあぶらかわ会
- ・ NPO 法人 ふうあの会
- ・ NPO 法人 ピアネット
- ・ NPO 法人 ごしょがわら恵鈴会
- ・ NPO 法人 NPO 推進青森会議
- ・ NPO 法人 プロ・ワークス十和田
- ・ NPO 法人 harappa
- ・ NPO 法人 レスパイトハウス WA
- ・ NPO 法人 アニマルサポート青森
- ・ NPO 法人 青森県日本文化を伝承する会

- ・ NPO 法人 あおもり男女共同参画をすすめる会
- ・ NPO 法人 夢アジア
- ・ NPO 法人 NPOサポートセンター
- ・ NPO 法人 日本NPOセンター
- ・ 会計基準制定協議会
- ・ NPO&NGO連絡協議会
- ・ NPO政策いちば
- ・ 日専連ホールディングス
- ・ どあどあラウンド

2. 行政との協働

行政からの事業受託を通じて、行政との協働を進めました。

相手先	事業名	内容	備考
厚生労働省	地域貢献活動法人支援事業	地域貢献活動分野を新たな雇用の場として開拓する事業。 8月より開始し、実態把握アンケートを行い、選定委員の協力を得て、11法人を選定。運営・会計・ホームページ設置・相談支援を行い3月末で7名の雇用を確保。5月末では計18名の雇用を確保。	委託事業：厚生労働省
青森市	稲わらひろい事業	稲わら焼き防止キャンペーン 11月にサンネット青森及び青森市役所職員の協力を得て実施。 青森朝日放送より、ABAグリーン賞奨励賞を受賞した。	委託事業：青森市

3. 企業との協働

(1) (協)日専連ホールディングスとの協働による、クレジットカードでの買い物額の一定割合を指定したNPOに寄付できる「NPO 応援団カード」の普及につとめました。

- ・ 登録NPO：43団体（青森県認証NPO法人42，内閣府認証0，ANPOS団体会員1）
- ・ カード成約者：695人（10/3/31現在）
- ・ ANPOSへの寄付金91,369円（21年度）

(2) 昨年に引き続き、(株)鹿内組、青森市との協働による、横内に市民ファミリー農園を開園・運営しています。今年度は48区画を提供いたしました。

(3) 東北労働金庫との協働による、シニア&団塊の世代等の地域デビュー応援プログラムとして「パートナーシップ制度」に取り組みました。青森では8法人が参加し、12名のボランティア参加者があった。

4. その他

4-1. 普及啓発

県内2～3ヶ所で「ふるさと納税と資金調達」の講座を予定していましたが、今年度は出来ませんでした。

4-2. 情報収集および発信

ホームページの運用を通じて、ANPOSからのお知らせやNPO団体等のイベント情報、活動支援情報などを発信しました。ホームページにTwitterを試験的に導入し「事務局長のつぶやき」を始めました。

4-3. NPO、一般社団法人設立・運営支援

NPO、一般社団法人の設立相談・運営相談を行いました。（ミッションとゴールの確定、事業計画の作成、定款その他提出書類の作成、登記作業、事業運営などを支援）。

一般社団法人日々木の森設立支援

NPO法人青森県ふるさとづくりプラットフォーム機構設立支援

NPO法人テイクオフみさわの運営支援

NPO法人サンネット青森の運営支援

NPO法人かなぎ元気倶楽部の運営支援

NPO法人夢の運営支援

NPO法人マンパワーの運営支援

抱民舎あうんの家の運営支援

合同会社 tecollcの運営支援

団体及び個人	1ヶ月平均	2件
電話相談問い合わせ	1ヶ月平均	300件以上
郵便・FAX・DM	1ヶ月平均	150件

4-4. 調査研究・政策提言

地域貢献活動支援事業の一環として、県内のNPO法人及び社会福祉法人400団体のアンケート調査を行いました。

4-5. その他の自主事業

事業名	内容	備考
インターンシップ事業	県内の大学生のインターンシップの受入 (青森県経営者協会との協働)	
NPO農園運営	青森市馬屋尻地区21区画22名参加	
NPOリンゴ園	五所川原市梅田のリンゴ園(33本)を 無償で借り受け、市民リンゴ園として開 園。樹のオーナー20名、果実のオーナー 15名が参加しリンゴ園を共同で運営し た。	

廃校活用プロジェクト 運営	世代間地域間交流事業 各種講座・コンサート・会食会等	助成金事業：(財)むつ小 川原地域・産業振興財団 助成金事業：(財)青森県 市町村振興協会 助成事業：(財)文化・芸 術による福武地域振興財 団
I T 元気講座	市民団体・NPOを対象とした情報発信 等のパソコン講習会の実施。パソコンの 貸し出し等	

4-6. 交流（含む講座・セミナーの企画運営、プログラムの提供、講師派遣）

「あおり NPO プラットフォーム」の活動をとおり、他の団体との交流を図るとともに、県内外を問わず、他団体及び企業との情報の交換を進めました。

- ・ NPO/NGO連絡会議に参加しました。
- ・ 全国アートNPOフォーラムに参加しました。
- ・ アサヒアートフェスティバル 2009 の選考委員会及び検証委員会に参加し、委員を務めました。
- ・ NPO Day で事例発表を行いました。
- ・ 会計基準策定協議会に協議委員として参加しました。
- ・ NPO政策いちばに運営団体として参加しました。
- ・ 国際子ども文化芸術交流実行委員会理事として韓国果川市清溪初等学校児童 10 名招聘のコーディネートを務めました。
- ・ 青森県生涯学習審議会委員を務めました。
- ・ 青森県総合社会教育センター公民館職員研修講師を務めました。
- ・ 三沢市「まち・きらきらセミナー」6月～12月まで毎月1回講師を務めました。
- ・ セミナー・ハンサムーマン主催「ようこそつながれっとサロン」7月～翌年2月まで 月1回セミナー主宰しました。
- ・ 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会市民活動支援委員会・青森県ソーシャルワーカー協会主催「第3回ソーシャルワークセミナー」10月開催に協力いたしました。
- ・ 国立女性教育会館ワークショップ参加
- ・ 国立女性教育会館ワークショップ学習交流会で講師を務めました。
- ・ 第28回地域づくり団体全国研修交流会竿森大会実行委員弘前分科会を担当いたしました。

4-7. 総務関係

(1) 2010年4月30日現在の会員数は以下の通りです。会員のプライバシーを守るために、名簿の管理を厳重に行いました。

- ・ 正会員…個人 33 人， 団体 5 団体 ・ 準会員…個人 4 人

(2) 定例総会を開催しました (6/26)。

(3) 理事会を 2 回開催しました (5/20、6/26)。

4-8. 会計関係

- (1) 会計処理を容易かつ迅速に行うため、コンピュータ処理を行いました。
- (2) 経理の透明性を図り円滑に事業を行うために、事業会計については各事業の会計担当を決め、処理を行いました。

平成22年度 事業計画

及び 予算案

1. あおもり NPO プラットフォーム構想の具体化

- (1) 奈良屋ビル2階の「あおもり NPO プラットフォーム」の活動スペースを NPO 法人及び団体の事務所に提供するとともに、活動をサポートしていきます。
- (2) 「あおもり NPO プラットフォーム」の活動をとおり、他の団体との交流を図ります。

2. 行政との協働

行政からの事業受託を通じて、行政との協働を進めます。

相手先	事業名と内容	内 容
青森市	稲わらひろい事業	稲わら焼き防止キャンペーン
厚生労働省	地域貢献活動法人支援事業	地域貢献活動分野を新たな雇用の場として開拓する事業。 昨年8月より開始し、3月末で7名の雇用を確保。
青森県	東青地域未来づくり人財育成事業	地域づくを中核的に担う人財、起業化意欲にあふれた人財の育成を目指す。

3. 企業との協働

- (1) (協)日専連ホールディングスとの協働による、クレジットカードでの買い物額の一定割合を指定した NPO に寄付できる「NPO 応援団カード」の普及につとめます。
特に、新しく誕生した NPO 法人への PR を強化します。
- (2) 昨年に引き続き、(株)鹿内組、青森市との協働による、横内に市民ファミリー農園を開園・運営いたします。今年度は48区画を提供いたします。

4. その他

4-1. 普及啓発

新しい NPO の会計基準が7月20日に発表されるのを受け、会計基準の普及に努めます。

4-2. 情報収集および発信

ホームページの運用を通じて、ANPOS からのお知らせや NPO 団体等のイベント情報、活動支援情報などを発信します。

4-3. NPO 設立・運営支援

NPO の設立相談・運営相談を行います。（ミッションとゴールの確定、事業計画の作成、定款その他提出書類の作成、登記作業、事業運営などを支援）。

4-4. 調査研究・政策提言

NPO 政策いちばを通して政策提言を学ぶとともに政策提言を行っていきます。

NPO & NGO 連絡会議に参加し、NPO 法及び認定NPO 法制度の改正に務めます。

市民立の公益財団法人の設立に向け、「京都地域創造基金」の調査を行い、青森県でのあり方を探ります。

4-5. その他の自主事業

NPO 農園を運営いたします。

NPO リンゴ園を運営します。

廃校活用事業「かれいざわアート ICHIBA」を開催します。又、地域住民の参加を求めながら、藍染め工房展や生ハムづくり講座を開催します。

市民団体・NPO を対象とした情報発信等のパソコン講習「IT 元気講座」を開催します。

中央能力開発協会の基金訓練に参画し、(社会的事業者等訓練コース)「新しい公共担い手育成 科」を開講し、将来、地域貢献活動分野で働いていただける人を育成します。

4-6. 交流

「あおもり NPO プラットフォーム」の活動をとおり、他の団体との交流を図るとともに、県内外を問わず、他団体及び企業との情報の交換を進めます。

4-7. 総務関係

会員のプライバシーを守るために、名簿の管理を厳重に行います。

70 名を目標に会員獲得に務めます。

4-8. 会計関係

(1) 会計処理を容易かつ迅速に行うため、コンピュータ処理を行います。

(2) 経理の透明性を図り円滑に事業を行うために、事業会計については各事業の会計担当を決め、処理を行います。

活動計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

単位：円

科 目	今年度実績		管理部門	事業部門
	金 額		金 額	金 額
I. 収入の部				
1、今期会費収入	1,346,700		196,000	1,150,700
2、会員負担金	355,450		321,450	34,000
3、寄付金収入	635,309		388,409	246,900
4、受取利息	1,993		0	1,993
5、事業収入	1,843,216		1,746,267	96,949
6、受託金	11,177,236		90,000	11,087,236
7、助成金	3,310,000		1,252,950	2,057,050
当期収入合計 (A)		18,669,904		
前期繰越金収支差額		6,722,380		
当期収入合計 (B)			25,392,284	
II. 支出の部				
1、給与	4,976,562		776,562	4,200,000
2、雑給	0		0	0
3、講師謝礼	864,025		20,715	843,310
4、法定福利費	0		0	0
5、福利厚生費	4,886		2,084	2,802
6、租税公課	7,700		7,700	0
7、荷造り運賃費	38,410		38,410	0
8、水道光熱費	587,442		373,839	213,603
9、旅費交通費	1,256,309		116,448	1,139,861
10、通信費	296,803		189,680	107,123
11、広告宣伝費	43,200		43,200	0
12、修繕費	73,546		23,205	50,341
13、事務用消耗品費	1,329,943		637,500	692,443
14、備品消耗品費	958,294		856,825	101,469
15、会議費	81,322		41,182	40,140
16、新聞図書費	201,782		69,047	132,735
17、保険料	616,252		295,383	320,869
18、諸会費	103,000		103,000	0
19、レンタル料	570,360		170,100	400,260
20、支払手数料	29,085		11,550	17,535
21、慶弔費	0		0	0
22、外注費	4,648,189		1,449,076	3,199,113
23、地代家賃	1,184,406		1,076,250	108,156
24、交流費	0		0	0
25、雑費	3,150		0	3,150
26、国庫返金	2,552,750		0	2,552,750
当期支出合計 (C)		20,427,416		
III. 収支差額				
当期収支差額 (A) - (C)			-1,757,512	
次期繰越収支差額 (B) - (C)			4,964,868	

(注) 特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

財産目録
(平成22年3月31日現在)

単位：円

資産の部		負債・正味財産の部	
I 流動資産		II 流動負債	
現金	206,263	未払金	1,414,296
青森銀行本店営業部普通預金 1448639	7,679,925	前受金	4,000
みちのく銀行本店営業部 3558886	245,986	預り金	2,529,350
青森銀行新町支店（農業） 1191964	64,503	負債合計	3,947,646
青森銀行桜川支店（廃校） 1160421	174,046		
青森銀行桜川支店（情報誌） 1006653	0	III 正味財産	
青森銀行桜川支店（IT） 1009261	325,317	無拘束分	4,964,868
青森銀行新町支店（おためしラ イフ）1228177	216,474	拘束分	0
郵便振替残高	0	正味財産合計	4,964,868
	0		
	0		
資産合計	8,912,514	負債・正味財産合計	8,912,514

貸借対照表
平成21年4月1日～平成22年3月31

単位：円

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	206,263		
預金	8,706,251		
未収金	0		
短期貸付金	0		
流動資産合計		8,912,514	
固定資産		0	
固定資産合計		0	
資産合計			8,912,514
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,414,296		
前受金	4,000		
預り金	2,529,350		
流動負債合計		3,947,646	
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計		3,947,646	
III 正味財産の部			
前期繰越収支差額		6,722,380	
当期収支差額		-1,757,512	
正味財産の部合計			4,964,868
負債及び正味財産合計			8,912,514

以上の通り決算報告をいたします。

平成22年6月26日

特定非営利活動法人

あおもりNPOサポートセンター

理事 (理事長) 田中弘子 理事 (副理事長) 小山内誠 理事 (副理事長) 今隆
 理事 (常務理事) 三澤章 理事 野月ひさ子 理事 中橋麻子 理事 越谷秀昭
 理事 ビクター・カーペンター 理事 沢拓哉 理事 伊藤圓子

収支計算書 参考資料（平成22年3月31日現在）

単位：円

	一般会計	事業			合計
		厚生労働省 地域貢献活動支援事業	自主事業		
1. 収入	青森		廃校活用	農業	
1、今期会費収入	196,000	0	812,700	338,000	1,346,700
2、会員負担金	321,450	0	34,000	0	355,450
3、寄付金収入	388,409	0	246,900	0	635,309
4、受取利息	0	1,880	84	29	1,993
5、自主事業収入	1,746,267	0	96,949	0	1,843,216
6、受託金	90,000	11,087,236	0	0	11,177,236
7、助成金	1,252,950	0	2,057,050	0	3,310,000
計	3,995,076	11,089,116	3,247,683	338,029	18,669,904
2. 支出					
1、給与	776,562	4,200,000	0	0	4,976,562
2、講師謝礼・謝礼	20,715	101,200	722,110	20,000	864,025
3、雑給	0	0	0	0	0
4、法定福利費	0	0	0	0	0
5、福利厚生費	2,084	0	2,802	0	4,886
6、租税公課	7,700	0	0	0	7,700
7、荷造り運賃費	38,410	0	0	0	38,410
8、水道光熱費	373,839	0	213,603	0	587,442
9、旅費交通費	116,448	964,704	173,575	1,582	1,256,309
10、通信費	189,680	71,503	31,420	4,200	296,803
11、広告宣伝費	43,200	0	0	0	43,200
12、修繕費	23,205	0	0	50,341	73,546
13、事務用消耗品費	637,500	49,267	543,499	99,677	1,329,943
14、備品消耗品費	856,825	0	101,469	0	958,294
15、地代家賃	1,076,250	0	53,156	55,000	1,184,406
16、会議費	41,182	1,101	37,904	1,135	81,322
17、新聞図書費	69,047	132,735	0	0	201,782
18、保険料	295,383	315,639	5,230	0	616,252
19、諸会費	103,000	0	0	0	103,000
20、レンタル料	170,100	400,260	0	0	570,360
21、支払い手数料	11,550	6,930	9,660	945	29,085
22、慶弔費	0	0	0	0	0
23、外注費	1,449,076	2,021,715	1,122,398	55,000	4,648,189
24、交流費	0	0	0	0	0
25、雑費	0	0	3,150	0	3,150
26、事業支出	0	0	0	0	0
27、国庫返金等	0	2,552,750			2,552,750
計	6,301,756	10,817,804	3,019,976	287,880	20,427,416
3. 前年度繰越金	6,676,233	0	31,793	14,354	6,722,380
合計	4,369,553	271,312	259,500	64,503	4,964,868

監査報告書

特定非営利活動法人
あおもりNPOサポートセンター
理事長 田中 弘子 殿

平成22年6月26日
特定非営利活動法人
あおもりNPOサポートセンター

監 事 _____
鳥越 正美
同 _____
夏目 浩光

私達は平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第11期会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1)会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2)業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1)収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
 - (2)事業報告の内容は事実であると認める。
 - (3)理事の職務執行に関する不正の行為、又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- 以 上

2010年度収支予算案
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

<一般会計・事業会計合算>

単位：円

科 目	額	
I. 収入の部		
1、今期会費収入	240,000	
2、会員負担金	500,000	
3、寄付金収入	1,000,000	
4、受取利息	5,000	
5、事業収入	11,700,000	
6、受託金	43,900,000	
7、助成金	8,500,000	
当期収入合計 (A)	<u>65,845,000</u>	
前期繰越金収支差額	4,964,868	
当期収入合計 (B)		<u>70,809,868</u>
II. 支出の部		
1、給与	28,195,200	
2、雑給	0	
3、講師謝礼	11,000,000	
4、法定福利費	3,800,000	
5、福利厚生費	100,000	
6、租税公課	10,000	
7、荷造り運賃費	45,000	
8、水道光熱費	1,200,000	
9、旅費交通費	2,900,000	
10、通信費	600,000	
11、広告宣伝費	80,000	
12、修繕費	73,546	
13、事務用消耗品費	1,329,943	
14、備品消耗品費	2,000,000	
15、会議費	200,000	
16、新聞図書費	300,000	
17、保険料	30,000	
18、諸会費	150,000	
19、レンタル料	570,360	
20、支払手数料	60,000	
21、慶弔費	20,000	
22、外注費	8,000,000	
23、地代家賃	2,000,000	
24、交流費	0	
25、雑費	20,000	
26、国庫返金	0	
当期支出合計 (C)	<u>62,684,049</u>	
III. 収支差額		
当期収支差額 (A) - (C)		3,160,951
次期繰越収支差額 (B) - (C)		<u>8,125,819</u>